

嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業における報告書

1 令和 2 年度 嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業地域連携研修会（第 1 回）

開催日時：令和 2 年 8 月 28 日（金）18 時 30 分～20 時まで

開催場所：土佐町中央基幹集落センター（多目的ホール）

内容：嶺北地域における with コロナを考える

-コロナウィルス感染症対策、リモート面会・オンライン診療への取り組み-

講師：医療法人十全会 早明浦病院

さわもと居宅介護支援事業所・デイサービス長老大学 代表 澤本 洋介氏

当日参加者：36 名

アンケート結果：参考資料 1

2 令和 2 年度 嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業地域連携研修会（第 2 回）

開催日時：令和 2 年 11 月 19 日（木）18 時 30 分～20 時まで

開催場所：本山町プラチナセンター（文化ホール）

内容：食べることは生きる事。みんな知ってる？お口の中の健康状態

～オーラルフレイル予防と在宅口腔ケアについて～

講師：秋山歯科診療所 院長 秋山 公生 先生

高知県歯科医師会在宅連携室 歯科衛生士 植田 智香 氏

高知県歯科医師会在宅口腔ケアチーム 堤 智子 氏

当日参加者：78 名

アンケート結果：参考資料 2

3 令和 2 年度 嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業 講演会

開催日時：令和 2 年 12 月 5 日（土）13 時 30～15 時

開催場所：本山町プラチナセンター（文化ホール）

内容：いき方（逝き方と生き方）を考えましょう

講師：高知大学医学部家庭医療学講座 阿波谷 敏英 教授

当日参加者：113 名（一般参加 60 名）

アンケート結果：参考資料 3

参考資料 1

嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業研修会アンケート集計（令和2年8月28日）

1、あなたの職種を○印で囲んでください。

ア 医師：1 イ 歯科医師 ウ 看護師：4 エ 薬剤師：1
オ 保健師：7 カ 歯科衛生士 キ 理学療法士 ク 作業療法士
ケ 言語聴覚士 コ 社会福祉士：4 サ 介護職：1 シ主任介護専門員：2
ス 介護支援専門員：2 セ 事務職：5 ソその他（相談支援専門員）：1

総数：29

2、研修会の感想を、該当する項目にチェックし、その内容をご記入ください。

- とても参考になった：18
- 参考になった：8
- どちらとも言えない：1
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった
- 回答なし：1

【記載内容】

- ・社会とのつながりはひとつではない、ということ
- ・感染対策をした上でサービス提供することの重要性
- ・現場の工夫が感じられた
- ・コロナの対応がどこも同じようだったので、安心した
- ・リモートの効果と今後の課題についてよくわかった
- ・デイ勤務のため、長老大学の話がためになった
- ・他施設の取組がよく分かった
- ・時期的にも興味のある内容だった
- ・現場での対応を知ることができた
- ・ネックスピーカーの効果
- ・高齢者の方でもリモート面会は可能という実践がみられた
- ・リモート面会を取り入れたいと思った

3、今後、改善した方が良く感じられた項目と改善法があれば、ご提案ください。

①開催日程、時間帯（昼間が良い）

②開催場所（）

③開催内容（）

④その他（）

4、今後、取り上げて欲しい内容をお書きください

- ・認知症について
- ・認知症、医療センターとの連携について、初期集中支援チーム員の活動について
- ・子供の引っ越しや配偶者との死別・入院等で突然独居になった方へのサポート体制について
- ・インフルエンザ等感染症が流行した時のコロナ対策について
- ・在宅、訪問時の対応
- ・各事業所の紹介等。各事業所の特徴や強みが共有できるとよいのでは、と思う
- ・コロナで変わっていく支援等
- ・在宅、訪問看護師、訪問理学療法士の取組
- ・嶺北地域での訪問看護の現状
- ・現場におけるコロナ対策
- ・看取りとその人らしさを引き出すターミナルケアについて
- ・安心ネットについて
- ・ICTを活用した医療・介護の連携の推進

5、その他、在宅医療・介護連携推進事業に関連するご意見・ご感想・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・多職種の方が一同に会して研修、意見交換、情報交換ができるこのような機会は大切だと思う。アンケートも迅速な作業でまとめていただき、貴重な情報交換ができた
- ・嶺北で現実に取り組み、行われていることが知れてよかったです

参考資料 2

嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業研修会アンケート（令和2年11月19日開催分）

参加者：78名 回収：49名

皆様、ご参加いただき、お疲れ様です。

今後の研修会等の参考にするため、アンケートにご協力ください。

1、あなたの職種を○印で囲んでください。

ア 医師 1	イ 歯科医師 2	ウ 看護師 10	エ 薬剤師
オ 保健師 2	カ 歯科衛生士 2	キ 理学療法士 6	ク 作業療法士 2
ケ 言語聴覚士 2	コ 社会福祉士 2	サ 介護職 6	シ 主任介護専門員
ス 介護支援専門員 5	セ 事務職 4	ソ その他（支援員 2、管理栄養士 2、歯科助手 1）	

2、研修会の感想を、該当する項目にチェックし、その内容をご記入ください。

とても参考になった (26)

参考になった (23)

【ご意見】

- ・全てが参考になりました
- ・在宅医療や訪問医療の連携が知れてよかった
- ・口腔内の観察ポイントを詳しく教えて頂き、ケア方法も参考になった
- ・口腔ケアを詳しく勉強することができて良かった
- ・口腔ケアの大切さを知ることができた
- ・口腔ケアの手順を詳しく勉強出来てよかった
- ・連携室の訪問のことが知れてよかった
- ・口腔ケアの基本がよく理解できた
- ・オーラルフレイル予防についての大切さを学べた
- ・在宅歯科連携室がどのような仕組みで、どのような相談があるのか、具体的に分かり良かった
- ・実践していることの確認ができ、不十分な部分が分かり勉強になった
- ・明日から実践できる内容でとても参考になった
- ・歯科訪問診療を知らなかったので参考になった
- ・口の開きにくい利用者さんがいるため、口腔ケア前の事前準備体操が必要なことが参考になった

- どちらとも言えない (0)
- あまり参考にならなかった (0)
- 参考にならなかった (0)

3、今後、改善した方が良く感じられた項目と改善法があれば、ご提案ください。

①開催日程、時間帯

- ・土日が出席しやすい

②開催場所

- ・大豊町でもやってほしい

③開催内容

- ・口腔ケアの動画があればなお分かりやすかったと思う

④その他

- ・暖房がついてなくて寒かった

4、今後、取り上げて欲しい内容をお書きください

【ご意見】

- ・福祉用具（車いすのシーティングやリフト使用でノーリフティングなど）の使用目的・方法等を取り上げてもらい、在宅や施設に福祉用具を取り入れていきたい
- ・一度では忘れてしまうため、今後も口腔ケアの勉強会を継続してほしい
- ・嶺北地域の高齢者の現状（年齢層・世帯数・サービス利用数等）と今後の推移について
- ・一般の方に向けて（特にご家族）このような研修会があれば良いと思います。
- ・口腔ケアと嚥下、そして栄養（食物摂取）へと繋げるための楽しく、美味しく食事を出来るような総合的なイベントや方法等の紹介があれば良いなと思う
- ・口腔ケアの効果について実際に先生方見られた例をあげてお話をしていただきたいです
- ・上顎洞術後の患者さんのケア等。難しい症例のケアを知りたいです
- ・フレイル予防について
- ・介護と医療の連携を様々なパターンで行っていただきたい
- ・フットケアなどのすぐにできる介護・看護技術の向上になる研修会

5、その他、在宅医療・介護連携推進事業に関連するご意見・ご感想・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

【ご意見】

- ・リハビリテーション（姿勢等身体機能）と口腔機能はつなげて考えていく必要があると思っているので、このように多種の職種の方が参加できる研修会を開催して下さりありがとうございました。勉強になりました

- ・相談にのっていただきたいと思った
- ・以前相談させていただきました、ありがとうございました 0
- ・今後も地域連携がうまく進むと良いですね。これからも関係者の方々の活躍を期待しています
- ・勉強会案内の日付・場所が見つらいです。中央揃えの方わかりやすいかと思いました
- ・医師会、行政からの歯科検診を進めて欲しい。歯科訪問診療の周知
- ・認知症の方との接し方

☆ご協力、ありがとうございました。お帰りの際、回収箱にお入れください。

嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業講演会アンケート（令和2年12月5日開催）

参加者：113人 アンケート回収：81人 回収率：72%

1、この講演会を何でしましたか？

- ア、配布されたチラシ 34 イ、医療施設などで掲示されていた広告 14
ウ、役場の放送 11 エ、知人の紹介 9 オ、その他（役場職員 2 社協からの連絡 6
無記入 4 サークルを介して 1)

2、講演会の感想を、該当する項目にチェックし、その内容をご記入ください。

- とても参考になった 59
 参考になった 22
 どちらとも言えない 0
 あまり参考にならなかった 0
 参考にならなかった 0

3、今後、改善した方が良いと感じられた項目と改善法があれば、ご提案ください。

①開催日程、時間帯

- コロナが流行る前にしてほしい
今のままでよい。年1回くらいあればうれしい
この時間帯でよい
平日夜間の方が参加しやすい

②開催場所

- 嶺北の中心が本山町なので、本山が真ん中で良い
WEBでも確認できるようにしてほしい

③開催内容

- 話し方が良かった。また来て欲しい
生き方について改めて考えるきっかけになった
いいお話でした、ありがとうございます
死については避けられないこと。日頃から話し合う必要性を感じた
家族や医療従事者と話し合う。自分、相手によって考え方が状況によっても違うことがよくわかった。これからの人生お互いによく話し合おうと思いました

④その他

看板が邪魔でパワポが見にくかった。講演が始まったら上にあげるなどして欲しい
会場内が寒かった

4、今後、取り上げて欲しい内容をお書きください

ACP と聞くことが増えてきた気がします。考えれば考えるほど自分の思いを可視化で
きていく気もしました。またこのような機会が欲しいです

資源の少ない地域での最期はどのように考えればいいのかいつも考えます

介護サービスの賢い使い方（利用者負担額と家族の介護負担のバランス）

フレイル予防

成年後見人制度の利用について

老後の良い人生

認知症への対応

健康寿命

高齢者一人生活者への対応

ひきこもり家庭の対応

在宅と医療施設双方の連携の在り方

在宅でできるサービスについて。利用者側、支援者側それぞれの立場ですべきこと

地域医療について

在宅で看取ることができるような環境を整えられるようにしてほしい

食事・運動・社会参加

例えば胃瘻について。地域住民にとって胃瘻をいれたら寝たきりや死に近いイメージ
が強いと思います。胃瘻をいれても一時的な治療で栄養改善や元気で活動できている
人のことも伝えていただきたいと思います

在宅介護の接し方

5、その他、在宅医療・介護連携推進事業に関連するご意見・ご感想・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

高齢になって家族や他者に助けをもらう、迷惑がかかるのは普通のことだと話され、そ
の通りだと思いました。みんな順番に繰り返される、と

アンケート用紙の文字をもう少し大きくしてほしい

いいお話でした、ありがとうございます

社会参加したいが車がない。山間部の悩み。どうかしてほしい

それぞれの事業の仕組みが分からない

嶺北でこのような講演が聞けて良かった

今後もこのような会をお願いします

一人でも多くの人が幸せな最期を迎えられたらいいな、と思いました
在宅ケアにおける医師の役割。福祉や歯科との連携について。実際の在宅ケアの例について

自分も高齢になり夫も全介助ですが孫・子供ともに成長してたくさん手伝うことも多くなっています。出来るだけ近所の方や職場の方との密接なつながりが続いてほしいです。娘にも手をかけないようにしたいです

高齢になってもその先の人生（いき方）に選択肢があることはとても大事なことだと思います。嶺北地域もここに住む人がいき方を選択できる地域であることを願います

自分らしい生き方、死に方を考えるきっかけになる。大変勉強になった講演会でした。ありがとうございました

みんなで助け合って生きていくことにつとめる

今日の講演は非常によかった。相手の最期に寄り添えるような支援ができたらと思う予想以上に多くの方が参加されており、心に響く内容でした。ありがとうございました
事例も交えた話で分かりやすく、勉強になりました。病院での先生との会話が大事なんだなと気づきました

令和2年度 嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業

講演会 入 場 無 料
誰でも参加できます！

「いき方(逝き方と生き方) を考えましょう」

日時 令和2年12月5日(土)13時30分～15時(受付13時)

会場 本山町プラチナセンター(文化ホール)

講師:高知大学医学部家庭医療学講座

阿波谷 敏英(あわたに としひで)教授

プロフィール

高知市出身。自治医科大学卒。大月病院、椿原病院長を経て、平成19年高知大学医学部家庭医療学講座 教授に就任。高知県中山間地域における総合診療専門医の育成、地域包括ケアシステムの研究にご尽力され、地域とつながった医療学教育を展開される一方で、各地で「逝き方と生き方」を考える講演や執筆活動でご活躍中。

人生の終わりまで、あなたはどのように過ごしたいですか？

人生の終い方についてかんがえてみませんか？

死を考える事は決して後ろ向きなことではありません。

「最期まで、自分の意志で自分らしく生きる」

前向きな気持ちでかんがえてみませんか？参加お待ちしております。

お問い合わせ：一般社団法人土佐長岡郡医師会

嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業コーディネーター(森本)

TEL080-1992-9386

参加される方は問合せ先までお電話ください。

11月25日(水)締め切り

大豊町住民課(0887-72-0451)

本山町健康福祉課(0887-70-1060)

土佐町健康福祉課(0887-82-2333)

大川村総務課(0887-84-2211)